

植木氏のプロ意識

自己認識

「物質的目標にはゴールがあるが、社会貢献にはゴールがない。ビジネスと社会貢献を両立させる活動に使命とやりがいを感じます」

他者評価の認知

「起業当時は「会社を利用してうまく立ち回った」との声も。でも現在は意義あることを自力でやっているとの理解が増しました」

専門技能

システム構築の知識と、管理部門を網羅する業務知識を備えている。また、社内外に広い人的ネットワークも持つ。

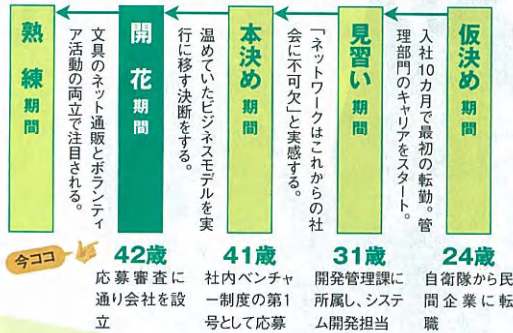
自分の力を思う存分発揮できる環境を作りたかった

大日本スクリーン製造で1999年にスタートした「社内ベンチャー制度」。その第1号として応募し、オフィス用品の通販会社、カスタネットを立ち上げたのが植木氏だ。

入社以来、管理部門のさまざまな職種を経験。なかでも、独立のきっかけになったのが、31歳のときに営業管理課で受発注システムの構築を提案し、実現させたことだと言いつつ。

「当時から、課長・部長の職務代行権限も与えられていましたが、これを機にすべてに目が届く規模の組織で、思う存分、力を試したいとの思いが強まったのです。社内ベンチャー制度はまさにチャンス。14%の出資を受けて起業することができました」
現在、カンボジアにリサイクル文具を贈るボランティア活動も立ち上げ、理想とする「社会貢献に結びついたビジネス」に挑戦中である。

植木氏のプロ意識が育ったプロセス



PROFILE 1958年、京都府生まれ。高校卒業後、航空自衛隊に入隊。1982年に大日本スクリーン製造に転職し、工程管理、工場購買、営業業務、システム開発などの部署を経験する。2001年2月、同社を設立。

CASE03

会社の出資で自らの事業を立ち上げた経営者



受発注システム構築の経験を足がかりに「社内ベンチャー制度」を活用し起業

株式会社カスタネット 代表取締役社長 植木 力氏 (46歳)